

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

BOKOMIシンポジウム in Indonesia

2011年12月7日、8日の2日間、インドネシアにおいてBOKOMIを広げるシンポジウムが開催されました。

BOKOMIは、阪神・淡路大震災を教訓に、「自分たちのまちは自分たちで守る!」という意識のもと、神戸市内で地域住民により結成された「防災福祉コミュニティ」を海外に紹介する際の愛称です。

2010年12月末、神戸の防災福祉コミュニティを参考にして、インドネシア共和国ジョグジャカルタ特別州において、現地版BOKOMIが結成されました。

結成後、このBOKOMIは定期的に熱心な防災訓練を活発に実施しており、その勢いは神戸市の防コミにも全く引けを取らないほどとなっています。

●インドネシアでも注目を浴び

この現地BOKOMIは、地震・津波を始めとした災害被害に悩まされ続けているインドネシア国内で、大変注目を集めており、国内各地からの視察団が絶えないそうです。遠くは数千キロ離れたスマトラ島最北端のバンダアチェなどからも視察にやって来るそうです。

●現地シンポジウム開催

BOKOMIの結成に至る経緯や、それぞれ

の団体の関わり方を紹介し、地域コミュニティで防災組織を結成する際に参考となる情報を共有し、その活動の中心となっている、楽しみながら防災を学ぶイベント「イザ! カエルキャラバン!」を実際に体験していただくために、2日間にわたる体験型シンポジウムを開催しました。

シンポジウムには、ジョグジャカルタ市長を始め、インドネシア国内のさまざまな県や州レベルの教育セクション代表者、災害対策局代表者や公共事業(福祉事業)セクション代表者、消防署長など150人程度が参加しました。

●共に学びあうBOSAI

神戸をモデルに結成されたBOKOMIですが、経費不足などのさまざまな課題を工夫を凝らして乗り越える現地での姿勢など、神戸が学ぶべきところもたくさんあります。国が違っても、お互いの良いところを学び合い、世界中から災害被害に遭う人をひとり人でも減らすことができると願います。

(予防課地域防災支援係 竹中邦明)

